

原料費調整制度に基づく簡易ガス(ちくし台団地)料金の調整について  
( 2012年10月 ～ 2012年12月 検針分 )

2012年5月 ～ 2012年7月 のLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2012年10月 ～ 2012年12月 検針分の単位料金は、2012年7月 ～ 2012年9月  
検針分に比べて、1m<sup>3</sup>当り ▲ 47.63 円の調整を行うこととなりました。

●簡易ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	(A)	(B)	(B)-(A)
		2012年7月 ～ 2012年9月	2012年10月 ～ 2012年12月	
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～8m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	434.61	386.98	-47.63
B料金表 (8.1m <sup>3</sup> ～30m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	401.01	353.38	-47.63
C料金表 (30.1m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	341.44	293.81	-47.63

●平均原料価格

	単位	2012年2月 ～ 2012年4月	2012年5月 ～ 2012年7月	基準平均原料価格
平均原料価格	円/トン	88,320	66,700	84,000

※平均原料価格が134,400円以上となった場合は134,400円 (100円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき}) \\
 &= 84,000 - 66,700 = 17,300 \text{ 円/トン} \\
 &\quad (100円未満端数切捨て)
 \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{調整単位料金} = \text{基準単位料金} - 0.210 \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 \times \text{消費税率})$$

	単位	(A)	(B)	(B)-(A)
		基準単位料金	調整単位料金	調整差額
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～8m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	425.13	386.98	-38.15
B料金表 (8.1m <sup>3</sup> ～30m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	391.53	353.38	-38.15
C料金表 (30.1m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>4</sup>	331.96	293.81	-38.15

(小数点第3位以下の端数切捨て)